

て、ここまではるばるとやってきたのです。」

伊策は、とつとつとした言葉で、自分の研究した結果を、十項目ばかりにまとめて説明しました。局長さんは真剣まけんに聞いてくれました。伊策の、方言ほうげんをまじえた説明がわからなかったり、方言の発音が聞きとれなかったりすると、やさしく聞きかえしたりしました。局長さんの、そのおだやかな目をみながら、伊策は、局長さんに会ってよかったと思いました。

何分間、話したでしょうか。最後に、局長さんはこう言われました。

「あなたの研究はたいへんおもしろいし、また参考になりました。だが、教科書にとり入れるには、まだ早過ぎると思う。少くとも、福島県とか、南会津とかの全部の学校で、あなたの方法がとりあげられるようになったら、そのときはまた考えてみましょう。全国で使う教科書を改めることは、まだ早過ぎるようです。さあ、あなたの方で、あなたの珠算の方法を、もっと広